

●6年制学科のカリキュラムの特色

1学年100名の少人数制できめ細かい教育を展開しています。1・2回生時に「物理」や「化学」といった基礎科目を学び科学的思考力を身に付け、4・5回生時には「医療薬学実習」「実務前実習」「病院・薬局実務実習」といった臨床系実習科目を履修し、考える力、課題発見・解決能力を養います。また、薬学の専門分野において英語でプレゼンテーションできる能力の習得を目指し、独自の英語プログラムを設置しています。6回生時の「薬学総合演習」では、薬学部全専任教員による講義と演習が実施され、入学時から学習した内容について総合的に復習し、医療の現場で必要となる知識、技能を確実に修得します。

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

薬局11週間、病院11週間の約6ヶ月間の実務実習を通じて、患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得します。各病院や薬局の担当教員は、病院・薬局の指導薬剤師と連携を取りながら、複数回の各施設訪問等を通じて実習中の学生に手厚い指導を行っています。

●病院実習先・薬局実習先

主な病院・診療所名:滋賀医科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院 他 32カ所
主な保険薬局:滋賀県薬剤師会会館薬局 他 68カ所
調整機構により実習先を確保

●アドバンスト(臨床)実習

薬剤師としての力量を高め高度な専門知識と技能を備えるため、病院・薬局実務実習の前後にあたる4回生および6回生では、実践的で多様な内容を含むアドバンスト科目を履修します。

卒業後に希望する進路に応じて科目選択を行い、職業人として活用できるよう、より高度な知識を修得します。

科目選定の参考として以下4つの履修モデルを設定しています。

- ・院内の医療チームで活躍する薬剤師
- ・院内の臨床研究・治験の分野で活躍する薬剤師
- ・地域薬局において地域医療の担い手となる薬剤師
- ・企業や行政等の医療薬学分野で活躍する薬剤師

●多職種連携教育の具体的な内容

本学では、滋賀医科大学との協力協定に基づき、「滋賀医科大学医学部と立命館大学薬学部との学生交流に関する申合せ」を締結し、多職種連携に取り組んでいます。具体的には、本学部生が滋賀医科大学医学部の講義科目や症例検討を行う演習科目を受講する機会を設けたり、滋賀医科大学医学部生を本学部研究室に短期研修として受け入れる機会を設けたりといった取組を行っています。また、滋賀医科大学医学部附属病院の現役の薬剤師・看護師を講師として招聘し、「多職種連携・チーム医療」に関する講演会を実施しています。

●多職種連携教育を行う医療施設名

滋賀医科大学医学部附属病院

●薬剤師国家試験への取り組み

正課外として対策講座や複数回の模擬試験を実施しています。模擬試験については、試験結果の講評や解説を行い、弱点克服や実力強化をめざして指導しています。適宜面談を行うなど、薬学部の人的、知的パワーを結集して、国家試験合格のための学びをサポートします。

●卒業研究について

6年制 3回生秋学期から卒業研究が始まります。修得した様々な薬学の知識・技能を総合して、さらに深い探究と理解を高度化するもので、より実践的な知識・技能を獲得します。また、研究に臨む心構えや高い創造性、問題発見・解決能力の養成を目指しています。

4年制 3回生秋学期から卒業研究が始まります。修得した様々な薬学の知識・技能を総合して、さらに深い探究と理解を高度化するもので、より実践的な知識・技能を獲得します。また、研究に臨む心構えや高い創造性、問題発見・解決能力の養成を目指しています。

●4年制の教育目標・育成する人材

人材育成目的

創薬の高度な専門知識と研究力を有し、医薬品などの基礎研究および臨床開発において活躍できる人材を養成することを目的としています。

教育課程編成・実施方針(カリキュラムポリシー)

- 1.豊かな教養や人間性を涵養する科目を配置する。
- 2.薬学を基盤とし、最先端の創薬研究に必要な知識、技能を養成する科目を系統的に配置する。

3.薬学や医学の発展・高度化に対応できる幅広い知識、論理的な思考力を養成する科目を配置する。

4.企業や大学において基礎研究および臨床開発に必要な問題発見・解決能力を醸成する科目を配置する。

5.英語での情報収集・発信能力を涵養する科目を系統的に配置する。

●4年制学科のカリキュラムの特色

薬学科と互いに連携した教育・研究を展開することで、薬学の基礎から臨床まで「薬を中心に据えた」人の健康にかかわる自然科学の知識と技術を幅広く修得します。

3,4回生時には、学生の多様なニーズに応える様々な選択科目が配置されており、自分の興味や希望する進路(化学系創薬研究者、生物系創薬研究者、臨床開発・医薬情報担当者)に合わせて科目を履修することが可能です。

3回生秋学期からの卒業研究では、第一線で活躍できる、問題発見・解決能力を備えた創薬研究者の養成を目指します。

●4年制学科から大学院に繋ぐ研究期間の確保など取り組みを教えてください。

学生の研究遂行にあたり、指導教員が主導しています。

●入試の変更点

入試情報サイト「お知らせ一覧」に掲載している「2024年度立命館大学入学試験の概要について」をご確認ください。

●入試に合格するためのアドバイス

一般選抜は全国30を超える試験会場で受験可能です。また大学入学共通テストの成績を利用する方式や、1回の受験で2学科を併願できる方式など、受験機会を最大限活かしてください。

●過去問を公開しておられますか

入試情報サイトにて公開しています。

●面接や小論文について教えてください

入試情報サイトにて「講評」を公開しています。

●大学独自の奨学金制度

給付型の奨学金制度があります。詳細は入試情報サイトでご確認ください。

●地域のアパート・マンションのモデル 家賃

立命館大学生協で案内している物件:約4～
5万円程度/月

●オープンキャンパスの日程

2023年8月5日(土)・8月6日(日)

各企画の詳細・申込方法は7月上旬に入
試情報サイトで公開予定です。